

## 感謝・感謝の 2 年間

校長 有島愛郎

冬の寒さから解放され、日一日と温かくなり、気持ちまで穏やかになったような気がします。この陽気に誘われ、甌島特有のカノコユリもニョキッと新芽を出し、本格的な春の到来を教えてください。

個人的なことですが、長かった教職生活も残すところ 1 週間余りとなりました。三島村黒島の太里小学校を皮切りに 38 年間教職生活を送って参りました。その間、最後まで離島で終えたいという気持ちは持ち続けていました。その思いは叶えられ、

最も勤務してみたかった甌島に赴任させていただいたことは、この上ない喜びでした。しかも海星中学校で最後を迎えられたことは、自分の教職生活の締めくくりに最高の学校だったと思います。



海星中は、生徒数 20 名足らずの学校ですが、素直で仲がよく、何事にも熱心に取り組むまとまりのある生徒達でした。その結束力は特に行事で発揮されたように思います。体育大会での迫力ある応援、文化祭での役になり切った演技、仲よし音楽会での完成度の高い合唱・合奏など、見ている人を感心させるとともに感動させる力がありました。また、地域においても伝統芸能を引き継ぐ担い手として、青瀬ヤンハや長浜太鼓踊りなど厳しい指導にも関わらず、熱心に習得する姿がありました。生徒の頑張りとともに保護者をはじめ地域の方々のご理解とご支援をいただいたことは校長として有り難いことでした。体育大会では保護者の飛び入り参加があり、親子の白熱した競争もありました。下甌音頭では、未就学からお年寄りまで一つの輪になって楽しく踊る姿がありました。持久走大会では、安全確保のために保護者の方が交通整理をお手伝いくださり、地域の方は子供たちへ声援を送ってくださいました。学校・保護者・地域が一体となった地域の学校であったとつくづく感じることでした。

このようなよき学校ですが、生徒数の減少だけが懸念すべきことでした。これを解決する手立ては、地域の活性化に他ならないと考えます。カノコユリが咲き、瀬尾観音三滝やナポレオン岩をはじめ風光明媚で水産資源の豊富な甌島です。地域みんなでお互い助け合えば、きっと解決できるだろうと思います。

最後になりますが、学校へのご理解とご協力とともに、温かい心でお付き合い下さったことは一生忘れません。皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 第 39 回卒業式

春の息吹を感じさせる穏やかな晴天の中、保護者の皆様をはじめ多数の御来賓の方々のご臨席のもと、第 39 回卒業式を挙行することができました。

卒業式の送辞では在校生代表の高山さんが「先輩方のような存在になれるのか不安な私たちですが、これまで教わったことを思い出し、今後の海星中に新たな歴史を刻んでいけるように日々努力します。」とメッセージを送りました。それに応えるように答辞では卒業生代表の甲斐君が「1 年生の皆さんには後輩ができます。これまで学んだことを生かし、後輩を正しい道へと導いてください。2 年生の皆さんは最上級生として学校を引っ張り、新たな海星中を創り上げてください」と思いを託しました。そして、最後に「下甌島だからこそ経験できる自然の素晴らしさ、人の温かさ等、学んだことを今後の人生に生かし、島立ちします。」とこれからの決意を述べていました。

式後の卒業合唱では全校生徒で「遙か」を 3 部合唱しました。わずか 16 名の生徒達ですが心を込めた歌声が体育館一杯に響き渡り、聴いている人達の心にもその思いが十分伝わってきました。立派に成長した 3 年生を送るに相応しい式となりました。



## 立 志 式

全校生徒を対象に立志式講演会を実施しました。講師に手打診療所に長年勤務された Dr・コトーこと瀬戸上健二郎先生を講師にお招きしました。先生は「中学生は ES 細胞（万能細胞）である。何にでもなれる。そのために、大きな夢をもちなさい」と話されました。2 年生の中川桃子さんは「瀬戸上先生の話聞いて、気付かされたことがたくさんあった。自分の夢を実現するために努力したい」と感想を書いていました。

講演会後は 2 年生を対象にした立志式を行いました。生徒それぞれが掛け軸に決意の言葉を力強く書き記し、将来の夢や親への感謝の気持ちを発表しました。その後、親から我が子へ激励の言葉を伝えました。生徒はその言葉に感極まり、涙する生徒の姿も見られました。生徒が自分のこれからの生き方を伝え、親の気持ちを知るとともに、親が子どもの思いを受け止める節目となった立志式となりました。



## 魚 捌 き 体 験

本地域の基幹産業である漁業を身近に感じ、郷土への理解を深める目的で「魚捌き体験」を実施しました。

中瀬主事と大石専門員の二人を講師として、アジの三枚おろしを説明しながら実演してもらいました。生徒一人一人に一匹ずつアジを配り、実習がスタートしました。おそろおそろ魚に触れ、三枚におろしましたが、骨に多くの身がついた生徒や魚の皮を剥ぐのに苦戦する生徒など様々でした。中には包丁を器用に使いこなし、まるで職人のように上手に捌く生徒もいました。最後にオリジナルの刺身盛りが完成し、自分で捌いたアジを美味しく頬張っていました。魚は青瀬漁業生産組合から提供していただきました。ありがとうございました。

～生徒感想より～  
○ 人生で初めて魚を捌きました。こんなに難しいとは思っていませんでした。甌島ならではの体験に感謝したいです。  
○ 島で生まれ育ち、おじいちゃんやおばあちゃんが捌くところは見てきましたが、自分で捌くのは初めての体験でした。最後に自分で捌いたアジはとても美味しかったです。



## お別れ親子球技大会

1・2 年合同、3 年生、保護者・職員合同の 3 チームに別れ、球技大会を実施しました。3 年生の東歩君が「感謝と友情を確かめながらプレーします」と力強い選手宣誓とともに、バレーボール競技が始まりました。3 年生と保護者チームの対戦では生徒が自分の親をサブで狙い、親が翻弄されたり、親が子どものスパイクをブロックしたりとお互いが負けたくないという気持ちが伝わる試合となりました。対戦後は笑顔でお互いが「やるな」と感心する姿が見られました。

閉会式では 3 年生の甲斐君が「1、2 年生が上手になっていたのでびっくりしました。そして、互いの成長を確かめられた大会でした」と締めくくりました。

3 年生の保護者の方にとっては、我が子と一緒にプレーできる中学校最後の行事となりました。



## P T A 施設保体部奉仕作業

施設保体部の皆さんを中心に、卒業式に向けて、体育館正面と本校舎 1 階の窓掃除を行いました。脚立や高圧洗浄機を使いながらの 1 時間程の作業となりました。お陰で卒業式も気持ちのよい環境で実施することができました。御協力ありがとうございました。

